

透析におけるチーム医療 ～臨床工学技士の役割と課題～

真下 泰, 齊藤 徳, 小川 輝之, 関根かすみ
渡邊 亜美, 笠井 麻衣, 佐藤 裕二, 秦 温信

札幌社会保険総合病院 ME部

透析治療は、医師、看護師、臨床工学技士など様々な職種が関与し、チーム医療の典型的なものである。業務もお互いオーバーラップすることも多く、看護師は患者中心で技士は装置中心と曖昧な業務分担をしているのが現状である。今回、医師、看護師が、臨床工学技士の業務に何を望んでいるか聞き取り調査したところ、装置の保守管理の徹底と治療に関する最新情報や医師、看護師が聞けない患者情報の提供を望んでいることがわかった。臨床工学技士は自らの専門性と役割を理解し、各種情報の提供も含めチームの歯車となるべきと考える。また、医療機器のスペシャリストとして医療安全における情報の発信源としても活動していくべきと考える。

キーワード：透析、臨床工学技士、チーム医療

はじめに

医療現場においては医師や看護師の協力を軸としたチーム医療が大事で、特に透析治療には医師、看護師、臨床工学技士、栄養士、薬剤師をはじめ様々な職種が関わっており、いわゆるチーム医療の典型的な治療である(図1)。しかし、実際の透析業務は医師、看護師および臨床工学技士が中心に行われているのが現状である。今回、その中で透析における臨床工学技士の役割について医師、看護師に聞き取り調査し今後の課題も含め検討したので報告する。

対象および方法

透析部にて従事している医師、看護師に透析における臨床工学技士の役割について聞き取り調査した。

結果

医師は、装置の管理と新商品や新しい技術、透析法など最新情報の提供を望み、看護師も装置の保守管理の徹底と治療に関する最新情報や医師、看護師が聞けない患者情報の提供を望んでいた。

考察

透析の業務内容としては図2のごとくである。看護師、臨床工学技士の業務の分担が明確化されておらず、一般的に看護師は患者中心で技士は装置中心という分け方で、オーバーラップする業務については共に行っている。ここでの問題点としては責任の所在が曖昧になることである。先の聞き取り調査をもとに臨床工学技士の役割について考えてみると、腎不全、血液浄化法に関する知識・技術はもとより情報収集能力も必要であると考えられる。工学技士として装置の管理も重要であることから自分たちの専門性は何かを把握しそれに対する向上心が重要で、ま

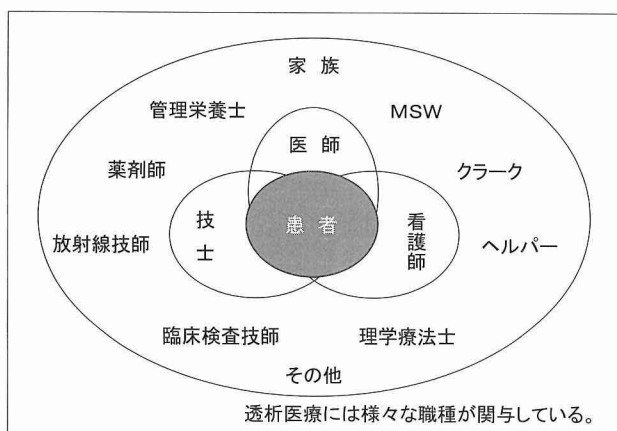


図1 透析におけるチーム医療体制

たその責任と他部署との協調性も重要である(図3)。技士の欠点として業務分担からもわかるように機器管理に重点を置き、患者から離れた業務が多くなることである。医師、看護師は患者に対する情報提供も望んでおり、業務として一方に偏らないことが肝要である。また、透析チームの臨床工学技士の育成やチーム医療の向上のために歯車の役割も必要である。そのためにも自分に与えられた業務を理解し実行することが肝要で、言い換えれば、自らの専門性と役割を理解し、他の職種の業務を理解することである。その中で積極的な情報交換も必要となり専門性を生かした自立連携を構築し、時には建設的な意見でのぶつかり合いも必要と考える。チーム医療の向上を目指す為には、個々の能力を向上させることも重要であり、今後益々安全管理が重視され、この面でも臨床工学技士としての課題が多いと考えている(図4)。

結 論

透析における臨床工学技士の役割として医師、看護師は装置の管理や情報収集および情報提供を望んでいた。透析業務は看護師、技士と明確に分けることは難しいが、お互いの専門性を理解することで責任の所在を分担することができる。また、臨床工学技士は医療機器のスペシャリストとして医療安全における情報の発信源としても活動していくべきと考える。

参考文献

- 1) 大平整爾、ほか：透析室のチーム医療、あなたの役割はなに？. 透析ケア 10：12-56、2004
- 2) 渡辺敏、ほか：活躍する臨床工学技士、過去・現在・未来. Clinical Engineering 7：645-705、2005

業務内容	業務分担
透析装置の準備・管理	技士>看護師
透析液の作成・準備	技士>看護師
患者の情報収集	技士=看護師
ダイアライザー・回路のセット、プライミング	技士=看護師
消毒セット・薬剤の準備	技士<看護師
透析開始(穿刺・穿刺介助 等)	技士=看護師
透析装置の操作・条件の設定	技士=看護師
バイタルサインのチェック・記録	技士=看護師
透析装置モニターのチェック・記録	技士=看護師
透析中の患者管理・処置・トラブル対処	技士<看護師
採血・検査・薬剤投与 等	技士=看護師
透析終了(返血・止血 等)	技士=看護師
透析装置の洗浄・消毒・保守・点検	技士>看護師
ベットメイキング・環境整備	技士<看護師
カンファレンス 等	技士=看護師

図2 業務分担

- ※臨床工学的な知識や技術を透析(血液浄化)分野に応用し、安全性や正確性を向上させる。
- ※技士に要求される基本的事項(チーム医療の歯車として・・・)
 1. 腎不全の病態、治療に関する知識
透析とは何か?.....
 2. 血液浄化法に関する知識、技術(治療技術、工学的技術)
透析における自らの専門性と役割.....
 3. 情報収集力、研究心
問題意識をもった積極的な情報交換、学会発表.....
 4. 責任と協調性
他職種の業務を理解する。専門性を生かした自立連携。
 5. その他
啓発、啓蒙、教育、指導.....

図3 透析チームにおける臨床工学技士の役割(1)

- ※透析チームの臨床工学技士の育成
 1. 自らの責任分野に関して、正確かつ確実に実行できる
 2. 他の分野の内容・必要性を理解し、その存在に感謝する
 3. 専門性の追求と向上心
 4. その他
- ※チーム医療の向上
 1. 実践能力の習得
 2. 協調性能力の研磨
 3. 教育・研究能力の研鑽
 4. 重複業務の範囲と責任を明確化する
 5. 定期的なカンファレンスを行うこと
 6. チーム全員が患者に向かってのこと
- ※技士の問題点
 1. 装置中心で患者から離れた業務を行うことが多い

図4 透析チームにおける臨床工学技士の役割(2)

Team medical treatment in dialysis ～ clinical engineer's role and problem ～

Yasushi MAKKA, Atsushi SAITO, Teruyuki OGAWA, Kasumi SEKINE,
Ami WATANABE, Mai KASAI, Yuji SATO, Yoshinobu HATA

ME part, Sapporo social insurance general hospital

As for the dialysis treatment, the various types of job participate in a doctor, a nurse, a clinical engineer; of team medical care is typical. Duties tend to overlap each other, and it is the present conditions that a skill person shares vague duties with the device center as for the nurse at the patient center. I understood that I expected an offer of the patient information that the latest information and a doctor, the nurse who thoroughly related to treatment of maintenance management of a device cannot hear when I heard what a doctor, a nurse expected from duties of a clinical engineer this time and investigated it. A clinical engineer understands own specialty and role and thinks that I include it, and an offer of various information should become a gear of a team. In addition, I think that I should be active as a specialist of medical equipment as dispatch source of information in medical security.
